

日本マクロエンジニアリング学会シンポジウム 2014

主催：日本マクロエンジニアリング学会（JAMES）
共催：NPO 法人マクロエンジニアリング研究機構
(RIMEP)
後援：拓殖大学、デザインウォーター

安倍政権の下、成長戦略が進められて、地政学的リスクや欧州の経済情勢が予断を許さない中、日本銀行の存在感が増しています。日本学術会議登録学会（文部科学省学会番号 11151）である日本マクロエンジニアリング学会による本シンポジウムでは発電効率向上のイノベーションや津波に対する防災・減災の提案を中心として持続可能性の向上に貢献する研究活動を促進し、国家的・世界的規模での持続可能性改善ビジョンと日本のグランドデザインを描くことを目指します。

日 時 2014年11月8日(土) 14:00~17:00

場 所 拓殖大学 文京キャンパス C406 教室

参 加 費 一般3,000円、本学会員無料、有効期限内の学生証を掲示いただければ無料

プログラム テーマ：「環境と防災：海辺で持続可能性を高めよう」

受付 13:30~15:30

開会あいさつ 14:00~14:05 茂木 創 理事長

イントロダクション 14:05~14:20 角田 晋也 企画委員長

講 演 1 14:20~15:20

Cool Tokyo and Change the World ~海洋深層水活用のためのブレークスルー~

逃目 英正 (デザインウォーター)

質疑応答 15:20~15:30

講 演 2 15:30~16:30

津波に関する防災・減災について

北見 辰男 財務委員長 (REMIP 理事)

総合討論 16:30~16:55

閉会あいさつ 16:55~17:00 吉野 文雄 会長(拓殖大学教授)

日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 拓殖大学政経学部 茂木研究室
電話/FAX 03-3947-9204 Eメール <hmoteji@ner.takushoku-u.ac.jp>
UEL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/>



<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985 年に創設された学術団体です。